

社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

平成29年 1月31日

計画の名称	1 甲賀市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策の実現		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	甲賀市
計画の目標	下水道整備を行い、浸水対策を実施することにより、水害に強い町を作るとともに、安全・安心、快適な暮らしを実現する。		

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・下水道処理人口普及率を66.9% (H23) から76.9% (H27) に増加させる。
- ・下水道による都市浸水対策達成率を15.4% (H23) から15.5% (H27) に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式

- ①下水道処理人口普及率
下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人) :
- ③下水道による浸水対策達成率
浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha) :

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	備考
66.9%	73.8%	76.9%	赤字は実績
	76.0%	77.2%	
15.4%	15.5%	15.5%	
	15.5%	15.5%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,308百万円	A	2,167百万円	B	-	C	141百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.1%
		2,154百万円		2,052百万円				102百万円		4.7%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期

事後評価 (中間評価) の実施体制

事後評価 (中間評価) の実施時期

平成29年2月

甲賀市下水道審議会にて評価を実施

公表の方法

市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

計画 実施 青色文字は、要素となる事業の内訳

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	下水道	一般	甲賀市	直接	-	汚水	新設	湖南中部処理区関連 汚水管の整備	汚水管φ200~350 L=20.1km L=15.6km	甲賀市						1,429 1,561	本綾野 つつしが丘 桜ヶ丘、第4水口台 他 泉、北脇 酒人 西内貴 甲賀工業団地 甲南駅前 希望ヶ丘、希望ヶ丘本町 池田団地
1-A1-3	下水道	一般	甲賀市	直接	-	汚水	改築	甲南処理区分区 汚水管の整備	汚水管φ200 L=2.0km	甲賀市						178	長寿命化含
1-A1-4	下水道	一般	甲賀市	直接	-	汚水	改築	甲南西第三処理区分区 (汚水管)	L=2.0km L=1.4km	甲南町						114	希望ヶ丘、希望ヶ丘本町
1-A1-5	下水道	一般	甲賀市	直接	-	処理場	改築	甲賀市下水道 長寿命化計画策定 (点検・調査含)	管路施設	甲賀市						20	長寿命化
1-A1-6	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	土山処理区 処理場砂ろ過設備	2池 3,500m3/日	甲賀市						6	希望ヶ丘、希望ヶ丘本町
1-A1-7	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	土山処理場 砂ろ過の設備	2池 3,500m3/日	土山町						72	大野
1-A1-8	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	思川第5排水区 (雨水渠)	雨水渠 700*700mm L=0.5km L=0.5km	甲賀市						60	
1-A1-9	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	甲賀市						15	第3水口台、第4水口台
1-A1-10	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	効率的な施設計画の見直し (汚水)	施設計画の見直し	甲賀市						6	
1-A1-11	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	効率的な施設計画の見直し (雨水)	施設計画の見直し	甲賀市						3	
1-A1-12	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	柳川第1-1排水区 (雨水渠)	雨水渠 □3500*2500mm L=0.3km L=0.1km	水口町						1	
1-A1-13	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	貴生川雨水幹線	雨水渠 □2600*2400~1500*1500mm L=0.7km L=0.1km	甲賀市						65	西内貴
1-A1-14	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	野洲川第2-3排水区 (雨水渠)	雨水渠 φ600~700mm L=0.7km L=0.1km	水口町						66	
1-A1-15	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	林口雨水幹線	雨水渠 φ900~1000mm L=0.3km L=0.2km	甲賀市						128	名坂、日電
1-A1-16	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	砂川第2排水区 (雨水渠)	雨水渠 φ600~700mm L=0.3km L=0.3km	甲賀市						26	
1-A1-17	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	甲南駅前線雨水管渠	雨水渠 φ900~1000mm L=0.5km L=0.0km	甲南町						37	深川
1-A1-18	下水道	一般	甲賀市	直接	-	雨水	新設	柳川第4排水区 (雨水渠)	雨水渠 φ900~1000mm L=0.5km L=0.0km	甲賀市						24	
1-A1-19	下水道	一般	甲賀市	直接	-	処理場	改築	甲南駅周辺地区雨水管渠	長寿命化計画策定	甲南町						19	深川
1-A1-20	下水道	一般	甲賀市	直接	-	処理場	改築	土山処理区 処理場長寿命化計画策定 (点検・調査含)	長寿命化計画策定	甲賀市						10	長寿命化
1-A1-21	下水道	一般	甲賀市	直接	-	処理場	改築	土山処理場 長寿命化計画策定 (点検・調査含)	長寿命化計画策定	土山町						9	大野
小計 (下水道事業)											2,167 2,052						

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
										合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
1-C1-1	下水道	一般	甲賀市	直接	—	新設	湖南中部処理区関連 汚水管の整備(支線)	汚水管 φ150mm L=1.2km L=1.6km	甲賀市						121 102	桜ヶ丘、第4水口台 他 希望ヶ丘、希望ヶ丘本町 池田団地	
							湖南中部処理区関連 汚水管の整備(支線)	L=0.5km L=1.0km	水口町								
							湖南中部処理区関連 汚水管の整備(支線)	L=0.5km L=0.2km	甲南町								
							湖南中部処理区関連 汚水管の整備(支線)	L=0.2km L=0.4km	甲南町								
1-C1-3	下水道	一般	甲賀市	直接	—	改築	甲南処理分区 汚水管の整備(支線)	汚水管 φ150mm L=0.6km	甲賀市						15	長寿命化含	
							甲南西第三処理分区 汚水管の整備(支線)	L=0.6km L=0.0km	甲南町							5	長寿命化
1-C1-4	下水道	一般	甲賀市	直接	—	改築	甲賀市公共下水道 長寿命化計画策定(点検・調査含)(支線)	管路施設	甲賀市							5	長寿命化
							甲賀市下水道 長寿命化計画策定(点検・調査含)(支線)	管路施設	甲南町								5
										合計					141 102		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
1-C1-1	基幹事業(1-A1-1)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																
1-C1-3	基幹事業(1-A1-3)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に整備することで、管の破損による道路陥没や流下阻害を防ぐ。												長寿命化含				
1-C1-4	基幹事業(1-A1-4)と接続する汚水管渠(支線)を一体的に点検・調査策定することで、管の破損による道路陥没や流下阻害を防ぎ、適切なストックマネジメントを構築し都市活動を確保する。												長寿命化				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・幹線および支線の汚水管の整備により下水道処理人口普及率が増加した。 ・雨水排水路の整備により都市浸水対策達成率が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	76.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	人口集中地域の事業推進により、下水道処理人口普及率の増加につながった。
		最終実績値	77.2%		
	指標③(下水道 による浸水対策 達成率)	最終目標値	15.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	15.5%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、引き続き下水道未整備地区の整備を推進する。 ・浸水被害防止を図るため、都市浸水対策を引き続き実施する。 					
---	--	--	--	--	--

(参考様式3) 水の安全・安心基盤整備

